

10周年記念特別企画
東京都写真美術館コレクション展
 10th Anniversary Commemorative Exhibition
 The Collection of the Tokyo Metropolitan Museum of Photography

How Photography Changed People's Viewpoint
1. ORIGINS

Origins - The Invention of Third Sight
 Spread Overseas - Traffic in Techniques and Images

東京都写真美術館
 Tokyo Metropolitan Museum of Photography
 東京都目黒区三田1-13-3 (恵比寿ガーデンプレイス内)
 TEL: 03-3280-0099 <http://www.syabi.com>

2005年4月2日[土]~5月22日[日]

10:00—18:00 (木・金は20:00まで) 入館は閉館の30分前まで

会場: 東京都写真美術館 3階展示室
 主催: 東京都・東京都写真美術館
 協賛: フォト・ギャラリー・インターナショナル
 東京都写真美術館開館10周年特別協賛: キヤノン株式会社/サッポロホールディングス株式会社/株式会社資生堂/株式会社写真弘社/大日本印刷株式会社/凸版印刷株式会社/株式会社日本発色/富士フィルムイメージング株式会社/株式会社リコー (50音順)
 休館日 毎週月曜日 (ただし、5月2日(月)は開館)
 一般: 500(400)円/学生: 400(320)円/中高生・65歳以上: 250(200)円
 ※()内は20名以上の団体料金 ※東京都写真美術館友の会会員は無料
 本展覧会のチケットをお持ちになれば、第2部以降の展覧会を割引料金でご覧いただけます。
 [第1~4部共通チケット] 一般:1,300円 学生:1,000円 中高生・65歳以上:650円

写真はものの見方を どのように変えたか

1 | 誕生 |

誕生 — 発明された第三の視覚
 渡海 — 往来する「術」と「像」



プラット・D・バビット 展望台からのナイアガラ滝の眺め 1855年 BABITT, Platt D. View of Niagara Falls from Prospect Point ダゲレオタイプ 人工着色

写真はものの見方を
 どのように変えたか

1 | 誕生 |

誕生 — 発明された第三の視覚
 渡海 — 往来する「術」と「像」



フェリーチェ・ベアト 日本家屋の室内 幕末期
 BEATO, Felice Interior of a Japanese House アルビュメシ・プリント 人工着色



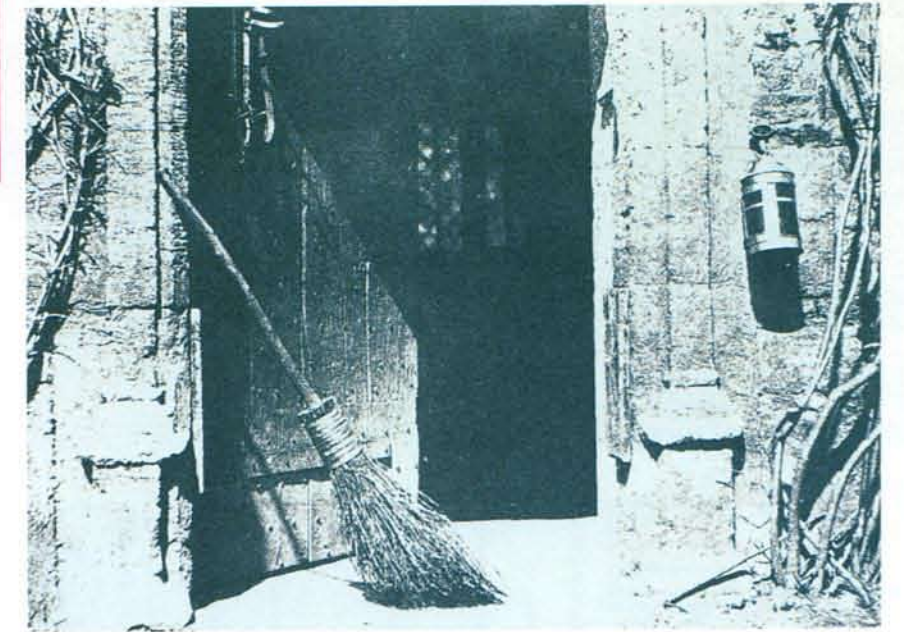
ジュリア・マーガレット・キャメロン
 マーガレット 1860—1870年頃
 CAMERON, Julia Margaret
 Margaret アルビュメシ・プリント



小川一真 東大寺 月光菩薩像 1888—89年
 OGAWA, Kazumasa Todai-ji Temple Candraprabha image
 セラチン・シルバー・プリント

順次開催予定

- 2 [創造] 2005年5月28日[土] ~7月18日[月・祝]
- 3 [再生] 2005年7月23日[土] ~9月11日[日]
- 4 [混沌] 2005年9月17日[土] ~11月6日[日]



ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット 『自然の鉛筆』より 開いた扉 1844—1846年
 TALBOT, William Henry Fox "The Pencil of Nature" The Open Door カロタイプ

世界初の写真集『自然の鉛筆』("The Pencil of Nature")
 全6冊一挙公開!

誕生 — 発明された第三の視覚

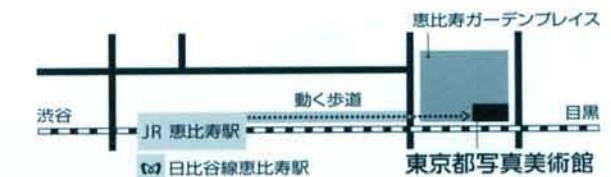
最新のデジタルも最古のダゲレオタイプも、眼に見えるとおりの画像がそのまま得られる「ダイレクトプロセス」である。

1839年、フランス。18世紀には第二の視覚と呼べるほど普及していたカメラ・オプスクラを使って、画像を定着させるダゲレオタイプが発表された。第三の視覚「写真」誕生の瞬間である。また、ほぼ同時期に、英国において異なる方式が考案された。「ネガ・ポジプロセス」の発明である。写真はもともと長い間、この方式によって醸成されたのである。これらの発明は、当時の人々に、どれほど大きな衝撃を与えたのだろうか。欧米社会は、たちまち写真に熱中していった。

渡海 — 往来する「術」と「像」

日本と第三の視覚「写真」との出会いは、幕末だった。1848(嘉永元)年、ダゲレオタイプ器材一式が輸入された。これは大名によって研究され、数年後に撮影成功の報告がなされている。そして、ペリーとともに写真師が幕末の日本を初めて訪れた。ついで、開国とともにジバングを求めて訪れた西欧の写真師たちは、幕末から明治の日本を写し、その「像」を西欧社会へもたらした。幕末日本のイメージは、写真を通して西欧社会に送られていったのである。やがて、訪れた写真師との関わりから、日本人の写真師が江戸・横浜・長崎に育っていく。日本人自身の手によって、変革と開化、激動する日本の姿が写真に収められるようになっていくのである。

◎ 会期中、本展関連ワークショップ、学芸員によるフロアレクチャーを開催します。詳しくは <http://www.syabi.com> をご覧ください。



会場 東京都写真美術館 3階展示室
 〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 (恵比寿ガーデンプレイス内)
 電話: 03-3280-0099 <http://www.syabi.com>

《交通機関》
 JR恵比寿駅東口改札より徒歩7分・東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分。
 当館には専用の駐車場がございます。お車でのご来館はご遠慮ください。